平成２７年度全国学力・学習状況調査は、４月２１日（火）に全国の小学校６年生と中学校３年生を対象にして行われ、８月の終わりにその結果が届きました。

　この調査は、主として知識を評価する「国語Ａ」と主として活用を評価する「国語Ｂ」、同じく「数学Ａ」と「数学Ｂ」、それに「理科」の５つの学力検査と、学習や生活の様子などを尋ねる質問紙の６つから構成されており、５つの学力検査については平均正答率という形で結果が報告されます。本校は、この５つの学力検査の平均正答率すべてで、全国平均を上回っていました。

　教科の観点別の平均正答率を総合的に見てみると、まず、国語では、「国語への関心・意欲・態度」は、全国平均に比べてやや低いものの、他の４観点「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は上回っていました。特に、「言語についての知識・理解・技能」は、大変すばらしい結果でした。数学では、「数学への関心・意欲・態度」については評価しませんでしたが、他の３観点「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」は、全国平均を上回っていました。理科も数学と同様、「自然事象への関心・意欲・態度」は評価しませんでしたが、他の３観点「科学的な思考・表現」「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」は、全国平均を上回っていました。特に、「観察と実験」並びに「自然事象についての知識・理解」は、大変すばらしい結果でした。

　これらの結果は、生徒達が落ち着いて一生懸命に授業に取り組むとともに、S-learningやチューモくんを使った授業の工夫、また、ティームティーチング等の指導や支援の成果であると考えます。ただ、個々には学習内容の理解が不十分な生徒もいますので、今後も指導や支援の充実を図り、生徒達の学力向上に努めていきたいと思います。

　学力検査とあわせて行われた学習や生活の様子などを尋ねる質問紙の中で、全国平均と比べて特に数値が高かった項目は以下のとおりです。

・自分には、よいところがあると思っている。

・将来の夢や目標を持っている。

・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館や地域の図書館によく行く。

・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事によく来る。

・学校に行くのは楽しいと思う。

・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

・人の役に立つ人間になりたいと思う。

・授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる。

・読書は好きだ。

・自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。



　これらとは逆に、数値が低かった項目は以下のとおりです。

・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。

・家で、学校の授業の復習をしている。

・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。

・普段（月～金曜日）、１日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ、ＤＶＤを見たり、聞いたりするか。　※３時間以上見たり聞いたりする者の数値が高い。

本校では、これからも、生徒が、「学校に行くのが楽しく、自分のよさが分かり、将来の夢や目標を持てる」と回答できる学校づくりに精一杯、努めていきたいと思います。